

沼津市青少年教育センター

# たより

平成26年4月号 No. 507

〒410-0881 沼津市八幡町97番地 ☎(055)951-3440 FAX(055)952-3300

## 地図帳にのる街



教育長 工藤 達朗

小学校の高学年だったと思う。1学期の社会科の授業で、真新しい地図帳が配られた。先生の「表紙を開いてごらん」との声に、私たち五十数名は一齐に胸躍らせながらページをめくった。当時、本は貴重品で、教科書に限らず、新しい本の匂いをかぐだけで知的好奇心が高まったものです。

地図帳には、街の地図が載っていました。先生が「日本の中でも典型的（模範的）な街です。地図記号が全部載っています。よく観察して調べてみなさい」とのこと。我々は、覚え立ての知識で、駅、漁港、橋、畑、田んぼ、工場、神社、寺院、城跡などの記号を見つけ次第、大騒ぎをしながら発表しました。しばらくすると先生が、「この街はどこか分かりますか」との問い。よく見ると街の真ん中を大きな川が蛇行して流れ、港があり、駅があり、小高い山もある。一瞬後、子ども達は、「な～んだ、沼津だよ」と大声で叫んでいた。すかさず先生は「みんなが住んでいる沼津市は、全国的にも自然、文化、歴史、農業、工業、商業、何でも揃っている見本となる街です。だから地図帳の見開きに載っているのです」と話して下さった。

このような素晴らしい街に住んでいるかと思うと、子ども心に誇らしく思ったものでした。いずれ、子ども達は、沼津を離れ様々な場所に住むようになるでしょう。また、世界に羽ばたいていく人もいるでしょうが、どこに移住しようと、沼津の素晴らしい気候風土の環境は、身体の芯まで染みこんで、故郷として残ることでしょう。故郷沼津を心の癒しとして、どの様なことが起ころうとも頑張ってくださいに違いありません。

成長期の子どものにとって環境がとても重要な要素であることは云うまでもありません。日ごろ、私は運動不足解消のために自転車で通勤しているのですが、途中にある学園通りを走るのは、密かな楽しみの一つです。高校生や児童・生徒が登校する時間と重なるため、今時の高校生の服装や髪形など興味深く、また、子ども達が笑顔で楽しそうに会話しながら登校する姿には心が癒されます。

ある日、異常気象のためか、沼津にも珍しく小雪が舞った。子ども達は、興奮気味に空を見上げながら楽しそうに登校していた。雨の日の子供達は、皆下を見ながらトボトボと歩いているような気がする。それが、雨から雪に変化するだけで、子ども達の表情がこんなにも変わるかと興味深かった。恥ずかしながら私も同じ気持ちになったものです。

人間とは環境の動物であると感じると共に、教育における環境の重要性を改めて再確認しました。

結びに、忙しい中での青少年の健全育成に多大なご協力を戴いている多くの関係団体や地域の方、ボランティアの皆様にご心より感謝申し上げます。

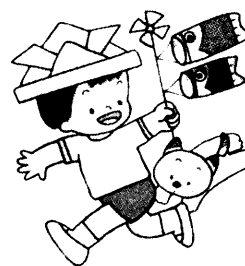
# 平成 26 年度青少年教育センターの活動

沼津市青少年教育センターは、平成26年度も引き続き、青少年健全育成のための次のような活動を実施していきますのでよろしくお願いいたします。

## 1 方針

沼津市は、昭和55年「青少年健全育成都市宣言」をして、市民と行政が一体となって青少年健全育成への取組を深めてきました。しかし、社会情勢や生活環境の急激な変化などにより、非行の多発・低年齢化など、様々な新しい問題を引き起こしています。

青少年教育センターは、こうした青少年をめぐる諸問題に対処するため、家庭をはじめとして地域・学校・警察他関係機関との連携の下に、補導・教育相談・研修活動を通じて、青少年の健全育成に努めます。



## 2 活動内容

### (1) 補導

#### 補導活動

青少年非行に対処するため、中央補導と地区補導活動の充実をはかるとともに、夏まつり・県内一斉等の特別補導を行い、青少年非行の未然防止に努めます。

#### 環境浄化活動

高校生参加による落書き消しを行い、意識啓発を強化するとともに、「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」を行い、地域ぐるみの有害環境浄化活動を推進します。

#### 広報・啓発活動

青少年教育センター「たより」と年報である「ねんりん」を編集・発行するとともに、「青少年の非行・被害防止街頭キャンペーン」を実施します。

### (2) 教育相談

#### 面接相談

不登校・発達などに関する相談全般について、面接による相談に応じます。

#### 電話相談（やまびこ電話）

青少年に関する相談全般について、電話による相談に応じます。

#### 体験活動「はばたき」

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒のための体験活動を実施します。

#### 相談指導学級

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒の内、沼津市教育委員会が認めた児童生徒が通級します。

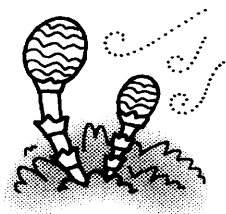
#### 青少年健全育成地域相談員

各地域にいる相談員が、地域の青少年健全育成活動への援助と相談を行います。

### (3) 研修

教職員研修センターが主催する「若手教員研修」のうちの相談指導学級における体験研修を実施します。

# 面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など  
青少年に関する面接相談。

◎相談および申し込み受け付け時間：  
午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）

◎相談申し込み：TEL 951-3440

## 平成26年2月・3月の状況

2・3月には新たに申込みがあった6件（2月2件、3月4件）を含め、  
51件（延べ相談回数309回）の相談に応じました。

### 1. 相談内容別新規相談件数

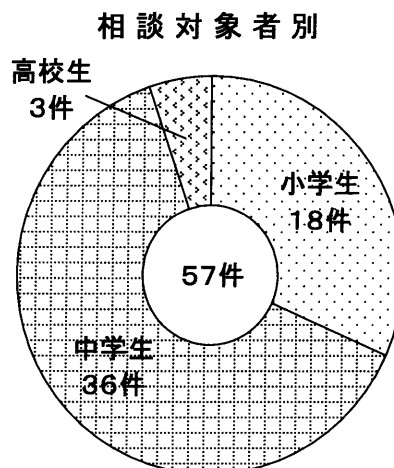
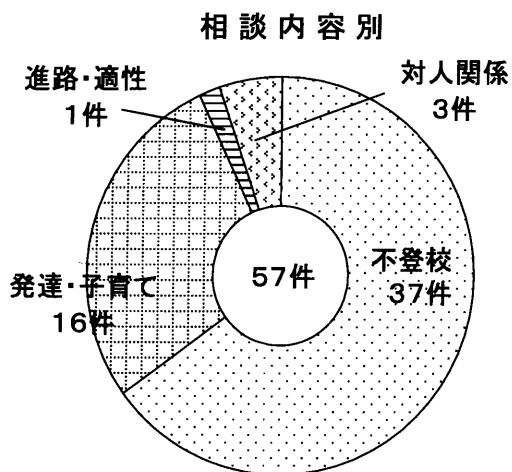
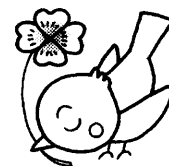
	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
2月	0	0	2	0	0	0	2
3月	0	3	0	1	0	0	4

### 2. 相談対象者別

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
2月	0	0	1	1	0	0	2
3月	0	1	3	0	0	0	4

### 3. 今年度の新規相談受付状況

受付件数 57件 （前年同期 59件）



#### 4. 2・3月に応じた相談件数（新規相談＋継続相談）

対象	性別	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		3	1				4
	女		5	2				7
中学生	男		11	2				13
	女		15	2	1	1		19
高校生	男		1	1		1		3
	女							0
少年	男				1	2		3
	女				1			1
一般成人	男					1		1
	女							0
計	男	0	15	4	1	4	0	24
	女	0	20	4	2	1	0	27
男女合計		0	35	8	3	5	0	51

#### 5. 2・3月の相談回数（51件の相談に要した延べ回数）

月	性別	面接	訪問	その他	合計
2・3月	男	106	20	22	148
	女	126	22	13	161
	計	232	42	35	309

### 相談指導学級 学級担当

平成25年度は、19名の小中学生が通級しました。自ら課題を持ち込んでの自主的学習、読書、木工や絵画制作やパズルなど多彩な創作活動、ゲームなどを通じたコミュニケーション力をつけるための活動、週1回実施のスポーツ等々、個人差はあるものの積極的に取り組みました。また、月2回程度設定した体験活動はばたきにも意欲的に参加することで、日常の活動とは異なった実際の体験を通して集団の一員としての自覚を持つようになり、明らかな成長を感じました。その他、ほとんどの中学生が学校へ行って定期テストを受けられたこと、自分の判断で始業式や終業式・修了式に参加したこと、また教室まで行けた児童生徒がいたこと等々成長が見られました。また、進路決定の中学3年生を見て下級生の中に「4月から学校へ行き目標に向けて頑張りたい」という生徒が出てきたことは、小集団の良い機能が作用したように思います。学級での様々な経験が、自信やエネルギーとなって、遠ざかっていた学校へも再び目を向けられるようになった児童生徒たちがいたことは、本事業にとって意義ある1年間であったと実感しています。

本年度も保護者・学校の先生方と連携し、通級する児童・生徒の成長を願って支援にあたります。関係する皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

# 電話相談



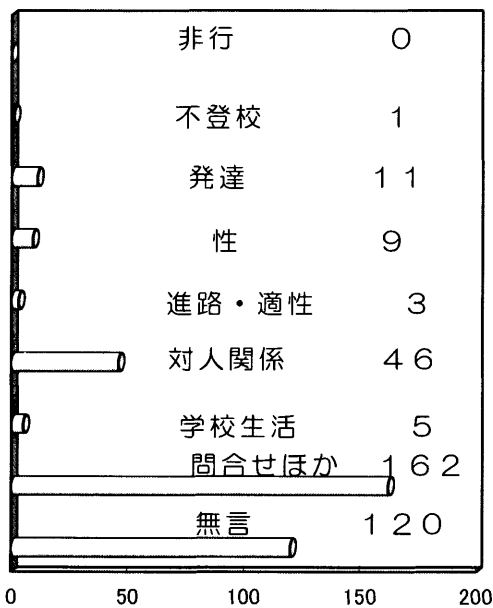
◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。  
 ◎相談時間：午前10時～午後7時 月～金曜日（祝祭日を除く）  
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

## 平成26年2月・3月の状況

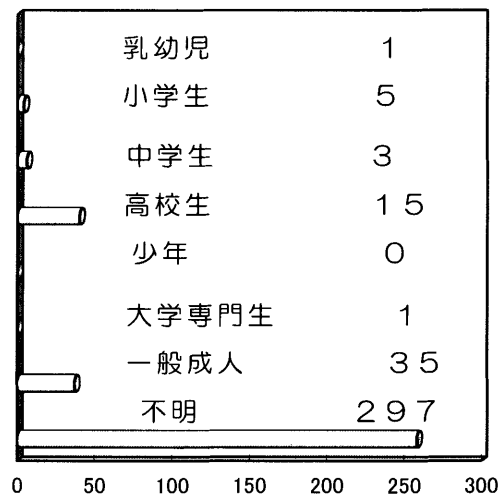
2月には160件、3月には197件の相談が寄せられました。  
 （前年2月：189件、前年3月：146件）

### 1. 2・3月の相談状況

相談内容別件数



相談対象者別件数



### 2. 今年度の電話相談受信件数状況(平成25年度)

総件数 2,257件（前年同期 2,310件）



#### (1) 相談内容別

内容	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せほか	無言
件数	2	7	450	87	11	364	22	612	702

#### (2) 相談対象者別

内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	2	58	79	338	2	10	292	1,476



# 愛情の心と成長

母親補導委員 熊谷 優子

補導の目イコール愛情の深さだろうと思う。

我が家の隣には幼稚園があるが、毎年入園してくる子ども達の指導をしている先生方にはいつも頭が下がる思いでいる。まだまだ母恋しい3歳から5歳の子ども達。親から離れ、集団生活を学び、小さな社会というものに触れ、コミュニケーション能力を養い、その成長していく過程の中で、幼稚園の先にある小学校からの生活で困らないように指導され学んでいく。

入園後の子ども達は、大抵二通りに分かれている様な気がする。一つめは、すんなりと「行って来ます」が出来る子、あと一つは門に入った途端、親からはなれるのが嫌で泣き叫ぶ子。後者の泣き叫ぶ子は、例年GW過ぎまで続いている。時間に追われる親は、泣き叫んでいる子を怒り「もう！いい加減にしろさい！泣いたってだめよ！」と突き放す。一度で分からないのは当たり前だが、親と子どもの心の葛藤が始まり、門でのやり取りが数分間、窓越しに様子が伺える。泣き叫ぶ子に対して先生は、「我慢して待っていることも大切なんだよ」と優しく諭す。

何日間か経つと、《今はそれぞれお互いの時間を過ごすんだ》という考え方が、子どもだけでなく親にも生まれ、親離れ子離れで、我慢することを学びお互い成長していく。心のゆとりがないと周囲は見えない。小さい頃ならば、何の抵抗もなく受け入れられる事柄も、大きくなれば受け止め方、感じ方も変化する。私は優しく諭す先生から、何が良くて何が悪いか判断する力をどのように導いていくか、指導の原点を学んだ気がする。補導するとは、愛情をかけることに繋がっていると思う。より良い社会生活を送るために、これからも沢山の愛情を沢山の人のにかけていきたいと思う。



## 1 少年補導委員の延べ参加人数（2月・3月）

区別	市職員	教員	地区 補導委員	女性 補導委員	母親 補導委員	警察関係	総数	
人数	2月	8	7	235	13	4	0	267
	3月	6	5	274	7	4	0	296

## 2 補導回数・補導状況（2月・3月）

	補 導 回 数				声かけ 注意・指導	事 後 指 導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
2月	4	7	28	39	48	0	0
3月	2	5	34	41	50	0	0

## 3 平成25年度 4月からの補導活動累計

補 導 回 数	延べ 参加補導委員数	声かけ 注意・指導	事 後 指 導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
491	3,874	1,134	0	0

## 2月・3月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

昨年度の学職別状況では、ゲームセンターへ入場している者への声かけが圧倒的に多い1年間でした。特に最近、入場している事への後ろめたさをほとんど持っていないのが特徴のように感じます。今年度の補導がすでに始まっています。またよろしくお願いたします。

学 職 別 区 分		性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	四月からの 累計
飲	酒	男							0	
		女							0	
喫	煙	男							0	2
		女							0	
夜 間 は い か い		男			3				3	26
		女			3				3	16
不 良 交 友		男							0	
		女							0	
怠 学 ・ 怠 業		男							0	
		女							0	
ゲームセンター入場		男			39				39	444
		女	1		6				7	163
パチンコ店入場		男							0	
		女							0	
カラオケ店入場		男							0	10
		女							0	14
自転車の暴走行為		男							0	2
		女							0	
自転車の二人乗り		男							0	17
		女							0	11
自転車の無灯火		男			2				2	42
		女		1	2				3	17
危 険 な 遊 び		男							0	12
		女							0	6
そ の 他		男		2	15				17	201
		女		2	22				24	151
計		男	0	2	59	0	0	0	61	756
		女	1	3	33	0	0	0	37	378
男 女 合 計			1	5	92	0	0	0	98	1,134

事後	家庭・学校・職場へ連絡	男							0	
		女							0	
指	他 機 関 へ 連 絡	男							0	
		女							0	
合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

## 情報コーナー

## 不審者情報のまとめ

市教委に市内小中学校から報告があった不審者情報の月別件数（全60件）

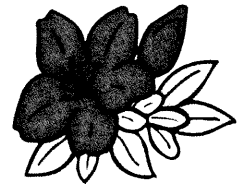
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	1	5	5	8	1	8
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	6	7	3	9	5	2

出没した地区（ ）内の数字は件数

第二（2） 第三（6） 第四（1） 第五（13） 金岡（9） 大岡（3）  
門池（3） 静浦（5） 今沢（7） 愛鷹（3） 浮島（6） 原（2）

内訳はほとんどが下半身露出でした。その他卑猥な言葉をかけられる、体の一部を触られる、怖いものでは、刃物を突きつけられたり、車に引きずり込まれそうになったりするものもありました。

駅北周辺は学校も多く、中学生や高校生を狙ったものも多いようです。また、沢田や浮島など根方街道沿いはバイクに乗った男の不審者が集中していました。



## センターの活動予定（5月・6月・7月の主な活動予定）

日 程	活動（行事）予定	日 程	活動（行事）予定
5月23日（金）	第1回補導委員会代表者会	7月26日（土）	沼津夏まつり特別補導
29日（木）	新任補導委員研修（地区）		[~27日（日）]
30日（金）	新任補導委員研修（女性・ 母親・教員）		【体験活動はばたき】
6月27日（金）	補導委員会感謝状贈呈式	5月15日（木）	浮島沼
7月 1日（火）	青少年の非行・被害防止強調 月間 [~8月31日（日）]	22日（木）	畑の耕し
7日（月）	青少年の非行・被害防止街頭 キャンペーン	29日（木）	さつまいも苗植え付け
11日（金）	県内一斉夏季少年補導	6月 5日（木）	高校見学1
18日（金）	第2回補導委員会代表者会	19日（木）	高校見学2
		7月 3日（木）	畑の除草
		17日（木）	畑の除草
			※天候等諸事情により、変更することがあります。

## 明るい子どもが育つまち

青少年健全育成シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言（昭和55年）

**あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪**

青少年を、優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート（心）を表しています。